

国際機構法（柴田）授業計画（中間）

2006年5月8日

5月8日

テーマ4：国際機構の概念・要件・類型：ATCMは国際機構か

必読文献：植木俊哉「第7章国際組織法」、169-194頁（4/24授業時配布）。

5月17日（水）3限（補講）

テーマ5：国際機構の史的展開、構成、意思決定、法主体性（一般）

必読文献：小寺彰「国際組織の誕生」（4/24授業時に配布）

参考文献：佐藤哲夫『国際組織法』第1章、第2章、第7章、第11章、第12章。

New! 参考文献：位田隆一「国際機構における表決制度の展開」林他編『国際法の新展開』（東信堂、1989年）、115-151頁。

5月22日

テーマ6★：国際機構の国際法主体性：ICJ損害賠償事件の検討

必読判例：ICJ損害賠償事件『国際法判例百選No.13』（5/8授業時に配布）

参考資料：Reparation Case (ICJ Report, 1949)（5/8授業時に配布）

参考文献：小寺彰「国際機構の法主体性- 歴史的文脈の中の『損害賠償事件』」国際法学会編『日本と国際法の100年第8巻 国際機構と国際協力』（三省堂、2001年）、55-74頁。

参考文献：佐藤哲夫『国際組織法』第6章

5月29日

テーマ7：国際機構の権限、条約締結権：ATCMは条約締結権限を有するか

必読文献：植木（2004年）、前掲書。

参考文献：佐藤哲夫『国際組織法』第8章

参考文献：浅田正彦「国際機構の法的権能と設立文書の法的性格」安藤他編『21世紀の国際機構：課題と展望』（東信堂、2004年）、99-171頁。

6月5日

テーマ8：国際機構の責任：南極条約事務局は国際責任を負うか

必読文献：植木俊哉「国際組織の国際違法行為と国際責任」国際法外交雑誌 90巻4号（1991年）、48-82頁。（5/22授業時に配布）

参考文献：黒神直純「国際機構の内部的責任について」国際法外交雑誌 101巻2号（2002年）、77-100頁。

参考文献：佐藤哲夫『国際組織法』第8章

6月12日と19日は、教員海外出張のため休講。補講は追って連絡する。